



卓 話



「嚥下困難って何ですか？」

小林 俊三会員

人間は年とともに成長し、やがて衰えます。若い会員の皆様には関係のない話ですが、ご両親様への話と思ってお聞き下さい。



人間、60歳を越せばいろいろなことが起こります。目、歯、耳、順番に衰えが始まります。眼鏡、入れ歯、補聴器、そして、血圧安定剤、インシュリンなど、数えあげればきりが無いほど、色々なものにお世話になります。

また意識しないのに、大変お世話になっているものも沢山あります。例えば心臓の筋肉は母親の胎内にいるときから活動を始め、死ぬまで活動します。いや、活動を止めたときが死ということになります。人間の意志がかかわることが出来ない事です。

ところが、自分の意思で動かせる筋肉は沢山あります。例えば物を食べる時、噛むことは自由にコントロールすることが出来ます。物を飲み込むことも自由にできる筈です。しかし、年齢をとるとそれが自由にいかなくなる事がおこるようになってきます。

嚥下が下手になると、誤嚥が起こります。食物や水分が食道に入らず、気道に入ったりします。ここで問題になるのが、口腔清掃です。「歯垢」という言葉は皆様ご存知の通り、歯磨き指導の時に、耳にたこができるほど聞かされていると思います。そうです、「歯垢」なんて気取っていわなくても「歯菌」です。この方が実感があるとおもいますが、ようは細菌の巣窟といえますか、細菌の塊なんです。これを誤嚥するわけですから、当然「肺炎」になります。これは誤嚥性肺炎と呼ばれるそうです。

困ったことに、誤嚥性肺炎は薬が効きにくいそうです。なにしろバイキンの塊が原因ですので、薬が効かないそうです。高齢者に起こる厄介な問題のひとつです。どうすれば誤嚥性肺炎から逃れられるかは、難しい問題です。

歯科医師の数など

歯医者が多くなったのを誰もが認める所ですが、平成20年末の数をお知らせします。歯科医師数は99,426人だそうです。開業している歯科医は67,779施設だそうです。どんどん増えてきた歯科医院も、実は昨年19施設が減ったそうです。歯科が惨めな状態なのは、ようやく知られるようになってきました。私立の歯科大学は入学希望者が減少、欠員が出ています。国家試験も難しさは68%の合格率を続けています。3割も不合格がでるのです。何とかならないでしょうか。